

「そして、バトンは渡された…新たな輝きを増して」

校長 工 藤 隆

いよいよ今日が令和2年度の修了式となりました。私が生徒にお話した内容を紹介します。

- 今年1年は、「元気なあいさつ」を思い切っ
てできない時期もあったが、後学期からは、
生活委員を中心にあいさつ運動が再開した。
校内に挨拶を交わす光景が戻ってきたことを
うれしく思う。
- 1・2年生の姿を見ていると、4月に最上級
生となる2年生も、後輩を迎える1年生も、
この1年で大きく成長したことを感じる。
- 私は、言葉からイメージを広げ、皆さんの姿
や生き方と重ねることをよくする。生徒会誌
「道」にも、「**そして、バトンは渡された**」と
いう本のタイトルを引用した文章を書いた。
皆さんには、目標やスローガンの言葉とそこ
に込められた思いを大切にしながら生きてほ
しいと願っている。それが「志をもって生き
る」ことにつながると思うからである。…
「今、令和2年度が終わろうとしている。**そ
して、卒業した3年生から1・2年生の皆さん
にバトンは渡された**」…「**継往開来～一
瞬を永遠に 未来へつなげ**」の生徒会スロ
ーガンのとおり、今生きている一瞬一瞬を大切
にしながら、先輩たちがつないできた良い伝
統を未来に伝えていってほしい。
- 卒業式前日、全校で歌った「夢=泉(ふるさ
と)」。2年代表が『**無限に広がるキャンパス
に新たな輝きを増して**』という歌詞には、3
年生一人一人が自分の夢に希望をもって進ん
でいく様子が表れている、3年生は自分の夢
に向かい、1・2年生はそれを応援するとい
う思いを込めて最高の合唱にしよう。」と述
べた。今、バトンを渡された皆さんにも自分
の夢に向かって進むという思いを大切に
してほしい。また、最後の歌詞「ずっと信じ合える
仲間と道を創っていく」のとおり、創立40
周年を迎える来年度、皆さんを中心に新たな
泉中を創っていくことを期待している。



- 選抜高校野球大会で選手宣誓をした仙台育英
高校のキャプテンは、「この1年を通して『当

たり前だと思いう日常は誰かの努力や協力で成
り立っている』ことを学んだ。」と話し、東
日本大震災に思いを寄せながら《感謝と感動
と希望》について語り、「これからの10年、
私たちが新しい日本の力になれるように歩み
続けます。」と決意を述べた。

- 修了式は、1・2年生が1年間大きく成長し
たことを皆で認め合い讃え合う場であると同
時に、次へ向かっていく決意を新たにす
る場でもある。今日が、皆さんにとって1年を振
り返り、新年度に向け、「いまからここ
から」と前に向かって歩いていく決意をする日
となることを願っている。

3月11日(木)に行われた第40回泉中学校卒業証書授与式から、10日あまりが過ぎました。卒業生の立派な態度とマスクをつけていることを感じさせない「はい!」の返事や校歌・記念合唱「僕のこと」の歌声から、まさに3年間の集大成にふさわしい素晴らしい式であったと感じました。答辞の中で、「僕のこと」の歌詞「ああなんて素敵な日だ 幸せに悩める今日も ポロポロになれている今日も ああ 息をしてもがいている 全て僕のこと あの日の僕らのこと」を引用し、「友達と笑い合った幸せなあの日、悔し涙を流したあの日、それらの日々全てが今の僕たちを形作りました。」と述べた代表生徒の言葉が印象的でした。



最後になりますが、保護者の皆様、いつも子どもたちの成長を共に見守り、共に支えていただきありがとうございました。学校の教育活動を肯定的にとらえ応援して下さる皆様のおかげで、コロナ禍の中でも教師と生徒が心をつにしながら前に向かって歩いていくことができたと感じています。これまで皆様からいただいた温かい励ましとご支援に感謝するとともに、今後も子どもたちのよりよい成長を願い変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。